

第3号議案 令和5年度事業計画（案）について

令和5年度事業計画

令和5年度は、令和4年度実施事業をベースとして引き継ぎ、会員団体・協賛企業の御協力のもと、本県の多彩な魅力を県内外に情報発信する各種事業を展開していくこととする。

1 役員会・総会の開催

(1) 役員会

令和5年4月14日（金） 15:00～16:00 埼玉会館

(2) 総会及び講演会

令和5年5月9日（火） 14:00～15:00 埼玉会館

※総会后、講演会（15:00～16:00）を実施予定

2 実施事業【一般会計】

(1) 情報誌「埼玉ブレイク」発行（年3回）

埼玉県の魅力や情報を県内外に発信する情報誌「埼玉ブレイク」を年3回発行する。令和4年度に実施したアンケートの結果を踏まえ、県内のグルメや観光スポットはもちろんのこと、埼玉県の住みやすさやスポーツ、イベント情報等の掲載についても検討し、内容をより充実させていく。

また、県のウェブサイトに掲載されている電子書籍「ブックシェルフ埼玉」の更なる周知を行い、県内のみならず県外へも広く埼玉県の魅力について発信していく。

- ◆ 号数 第35号～第37号
- ◆ サイズ A5
- ◆ ページ 16ページ
- ◆ 発行部数 各30,000部
- ◆ 配布先 会員をはじめ、パスポートセンター等の公共施設、県内主要駅及び都内、千葉県内の一部の駅、県内商業施設で配布



(2) プロスポーツチーム応援事業

県内に本拠地を置く浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャ等の応援事業を実施する。また、会員特典としてのカレンダーの割引販売、ホームゲームでの県PRブースの出展、コバトン・さいたまっちを活用したPRなどを行う。

(3) 県民の日PR事業

県民一人一人が郷土の魅力を再発見し、愛着を深める機会としての「県民の日」を盛り上げていくため、会員団体・企業への周知を図るなど県の主催する県民の日記念事業に協力する。

具体的には、県民の日を周知するポスターの配布や、県庁オープンデーでの協賛事業等を行う。

(4) 主催・共催等事業

① バーチャル埼玉フェスティバル事業との連携

県が行うバーチャル埼玉フェスティバル事業と連携し、バーチャルイベントへの参加やブース出展等により、新たな角度からの埼玉の魅力発信を行う。

② SNS アカウントの活用

県が運営する Twitter アカウント「SAITAMA Next 150」において、会員企業・団体の埼玉に関する商品情報やイベント開催情報を発信する。

③ 渋沢栄一翁関連事業との連携

渋沢栄一翁が令和6年度上期に発行予定の新一万円札の肖像になることを受け、県が行う様々なPR事業に協力して機運醸成を図る。



3 実施事業【コバトン事業特別会計】

(1) 埼玉県マスコット「コバトン・さいたまっち」による埼玉県PR事業

コバトン・さいたまっちを活用して、埼玉県の魅力のPRを行う。また、さいたまっち倶楽部や埼玉ご当地ヒーローズ等による埼玉県の魅力及び県事業のPR、各種イベントへのブース出展等を行う。

(2) 埼玉県マスコット公式グッズ等の制作、販売

埼玉県のマスコット「コバトン」「さいたまっち」を身近に感じてもらえるグッズを継続的に製作、販売する。

4 後援・協力事業

会員団体や協賛企業等が実施する埼玉の魅力発信に資する事業に対して後援を行う。